

# 琉球大学学術リポジトリ

## 日米関係（沖縄返還） 14

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43789</a>

44  
山野同長、日本御親會講  
山野局長、日本陸軍次官補代相  
公事

レカヒ 万博  大政事外外官 務務 次次 臣官審議長 議書文会書給 総人電厚計  國資 參謀 長 價移 移長  参領旅移   参北京經 長 中西進 參 參北北保  參一  參西東洋 長   参書近ア 長 次總經國方  參 參領統 領 政 政 國  參 參 參  參 參  參   參道外外	注 意  1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。	電信写  総番号(TA) 25628 米国 主管 69年6月2日21時45分 第一 69年6月3日10時54分 本省 着米  外務大臣殿 下田 大使 临时代理大使 総領事 代理  オキナワ問題(特進局長、フイン会談)  第1692号 略  2日山野局長は北米第1課長及びキウチと共に日本部長を往訪次の如く意見交換した。(先方マケルロイ同席)  1. 開金移管問題  先方よりUSCARからスズキ監事答申案の要旨報告を受けたが電報だけはどうもよく頭に入らないし。シェナも同じらしいとて説明を求めたので(イ)当方より詳細に解説(先方は特に米側出資金のIDENTIFICATION及び政策委員会のリュウキュウ側委員が多数をしめる点に関心を示した)ところ。(ロ)先方はよく分つたがなおシェナに局長からとくと語していただきたく。その上でワシントンの当局間で協議してからUSCARとも連絡し米側の態度を決定したいと述べ。(ハ)当方質問に対レスズキ監事に来華を願うか否かもその際決めたいと答え。なおUSCARはこの点につきまだ「あお信号」を出しておらず「き信号」であるとつけ加えた。(注:シェナとは3日午後会うこととした。)
外務省	電信写  注 意  1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検問班に連絡ありたい。	2. 本土米の供与問題  当方より最近の進ちょく状況を説明し、(イ)PL480はどうしても困る(復帰をひかえての長期の負債はおかしくかつアメリカ生産者の市場シェア確保といふいわば判り易い問題と異り全然説明がつかないから)旨。これを無理に実施すればアメリカの好意に出でたことがかえつて反感を買うべき旨強調したところ。(ロ)先方はたく山の関係当局があり複雑な問題なので暫く時間がほしいが、説得は決して容易でない。また本土米供与限度を2万トンとしあくまでがんばるようあちこちから強い圧力を受けていると語り、いずれにせよ山野局長出発前再び詰合うこととしたと述べていた。(注:PL480はトン数に比し第2義的な問題であるとの印象を受けた。)  3. OLO  当方より改正内容及び施行時期につき十分前広に日本政府と協議してもらわなくては困る旨述べたところ先方はこれを確約すると共にかかるプロセスを経て施行の際はぜひ日本政府の支持表明を得たいと希望していた。  ナハに本電内容連絡ありたい。  (3)

ガバ	万博	注意	注意
電信写		電信写	
<p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。</p> <p>総番号(TA) 23803      69年6月4日00時46分 米国 主管      69年6月4日14時03分 本省 発着 米北1</p> <p>外務大臣殿 下田(大) 臨時代理大使 総領事 代理</p> <p>オキナワ問題(特使局長・シェナ会談)</p> <p>第1715号 略</p> <p>往電第1692号に關し      3日山野局長は北米/課長及びキウチとともにシェナ陸軍省次官代理を訪問し、次の如く意見交換した。(先方メロイ准将、フレイマス係官、國務省マケルロイ同席)</p> <p>1. 本土米の供与問題      当方より初年度3万トンまで引下げるために如何程心しているか。また、返かん交渉が進ちよくしているこの段階でPL480による供与は承服し難い点につきるる説明した。右に対し、先方は、豪州とも契約済みであり、日本の供与米は新しいプラス・アルファーのアイテムであり、加州米にくい込むため米議会で問題化するおそれがあり、客年秋以来4万トンでは市場が混乱するといつてきたり。本土米はせいぜい2万トン程度しか許容できない旨強調した。なお、PL480に基く供与については通常取引をそばしないことを前提にしており、ゆう先順位は通常取引の後にくると述べていた。先方は本土米の供与自体について</p>			
<p>1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。</p> <p>ては異論をとなえるものでなく、ただ数量的に飛やくされ ては困ると述べたのに対し、当方より、日本政府の対リュウ ウ援助の財源にも限度があり、ヤラ主席の強い要請の次第 もあり。また、早急に供与のための立法手続を完了する必 要もあるので米側が前向きの結論を一日も早く出すよう重 ねて要望した。</p> <p>本会談では、先方は3万トンにつきコミットせず、結論は 出なかつたが、フイン日本部長ともさらに本件をつめることとし、先方の検討をとく促しおいた。</p> <p>2. 開金移管問題      当方より本件経緯を説明したのに対し、先方は山野局長の フイン日本部長に対する説明(冒頭往電)。参照により だいぶ誤解はとけたが、依然複雑な法律、政治問題を内 包していると思われるので、なお若干検討の時間を貸して ほしい旨述べた。</p> <p>3. OLO      OLOの施行は米側に権限のある問題であるが、施行する 場合には十分日本政府がバックアップできるよう日本政府 のサゼステンションを新布令に反えいしてもらいたい。先方は 十分の事前打合せを約した。</p> <p>4. リュウキュウ経済計画立案      復帰に伴い現地は経済の先行きに対する不安に包まれてお</p>			
外務省			

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

り。現地に長期的なビジョンを与える経済を建直し、振とうさせるため、早急に民政府、在京米国大使館、リュウ政ならびに日本政府関係実務家を交え、経済発展計画の策定を行うこととした。本件構想は既にアドコムに提出され、目下検討されている大体報告とてい触するものであるが、~~必ずしも右記~~ 包含して、実務家による検討の場を設けることとした。早急に着手せざるにおいてはリュウキュウ経済見通しは不安に包まるべく、時間を無駄にしたくない旨当方より述べた。

右に対し先方は、本件構想に積極的に異論はとなえざるもの、人的・資金的側面からその実効性に疑問を示した。しかし、より具体的な構想を在京大使館にでも提示されるにおいては検討してもよい旨述べた。

5. リュウ政に対する財政援助

当方より明年度援助計画に関する予算編成作業に着手しなければならず、かたがたヤラ主席にも多々の注文があり、7月にはナハに出張して、リュウ政、民政府を交え、十分相談を重ねたいと述べたところ、先方はナハへの山野局長の出張は有意義であり、タイミング等在京大使館に連絡いただけば本件~~運~~について検討したいと述べた。

6. リュウ政のあか字財政

先方よりリュウ政の財政あか字は69年度2,400万ド

— 3 —

外 務 省

注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電 信 写

ル。70年度は1,500万ドル前後であり、ヤラ政権は健全財政へ持つてゆく努力を行なつておらず、またその能力にも限度があるようだ。もとよりその責めはヤラ主席一人に帰すべきでなく、施政権者たる米国政府の責任でもあるが、本件は政治問題に発展しかねず、米国政府としては重大な関心をよせている旨御伝えしたいと述べた。

右に対し、当方より、前記あか字はばは数字に異論はあるが、それはさておき、昨年はオキナワは三大選挙により政治は少なくとも半年間は停滞し、また、復帰見通しにより、投資の抑制等悪条件が重なつていかんがら景氣は下降するばかりであり、これを直ちに建て直すことは不可能である。従つて、71年度を目ざしてより長期的観点から日米協力して援助の手を差のべる必要がある旨述べておいた。

要旨ナハに連絡ありたい。

(3)

外 務 省